

令和4年度新たな地域コミュニティ支援事業における評価結果について

評価基準

S：区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を大幅に上回っている。

A：区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を上回っている。

B：区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準に概ね達している。

C：区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を下回っている。

【評価項目1】 自律的運営に向けた地域活動協議会の取組

評価	左記の理由
A	・若い世代との連携強化に向け、積極的なオンラインのスキルアップ支援を実施することで、オンライン会議のほか、役員同士の連絡にオープンチャットを活用するなど、若い世代が参加しやすい組織運営づくりの発展がみられた。 ・地域と企業・団体・学校が交流し、地域課題に向き合う場として「あべのほっとカフェ」をオンライン開催したほか、若い世代からビジネスの手法で地域課題の解決を図るためのアイデアを募集する「まちづくりビジネスアイデアコンテスト」を開催することで、若い世代と地域とが新たにつながるきっかけとなった。 ・運営委員会や部会に出席し、会議運営を支援。書面採決等の提案を行った。

【評価項目2】 事業の実施体制等

評価	左記の理由
A	・スタッフを地域担当制とし、地域のこれまでの状況を把握したうえで、地域に合った提案を行うことができる体制が整っていた。 ・毎月1回、9区の担当者によるアドバイザー会議を開催し、他区で受注している「まちづくりセンター」と情報共有を行い、効果的な支援を行った。

【評価項目3】 アンケート調査

評価	左記の理由
A	・地域が自律的に運営されていると感じている及び、新たな担い手が増えてきたと感じる割合が増加している。 ・まちづくりセンターの支援に満足している割合が約9割あり、高い水準となっている。

【総合評価】

評価	左記の理由
A	・地域活動協議会への組織運営について、役員同士の連絡にオープンチャットを活用するなど、若い世代が参加しやすい組織運営づくりの発展がみられた。 ・地域課題解決の新たな取組の一つとして、「まちづくりビジネスアイデアコンテスト」を開催することで、若い世代と地域とがつながるきっかけとなった。 ・上記について、アンケート調査結果からも効果的な地域支援を実施したと判断できる。